



平成 27 年 5 月 11 日

各 位

上場会社名 田中精密工業株式会社
代表者 代表取締役社長 長岡 隆
(コード番号 7218)
問合せ先責任者 営業企画部事業企画ブロックリーダー 沖 健司
(TEL 076-451-7651)

特別損失の計上、繰延税金資産の一部取崩し、業績及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成27年3月期決算において、下記の通り固定資産の減損損失及び関係会社株式評価損を特別損失に計上し、繰延税金資産の一部取崩しを行うこととしましたのでお知らせいたします。

また、この特別損失の計上、繰延税金資産の一部取崩し及び最近の業績動向を踏まえ、平成26年10月28日に公表いたしました平成27年3月期通期（連結・個別）業績予想並びに配当予想を下記の通り修正いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上及びその内容

平成27年3月2日開催の取締役会において、インドの当社連結子会社であるタナカオートパーツインディア・プライベート・リミテッド（以下、TAP-I）の事業の一時休止を決議いたしました。

また、国内外でのダウンサイジングエンジンの拡大影響により、主要顧客の一部車種において搭載するエンジンの構成変化があり、当社主力製品の生産減少が顕在化していることから、主力市場である北米に生産を集約させることとしたことにより、国内 田中精密工業株式会社において設備の余剰が発生する見込みであります。

これらの状況により、当社グループにおいて一部の固定資産に減損の兆候が認められたことから「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、その回収可能性を検討しました結果、それら固定資産の減損処理（連結：2,000百万円、個別：1,347百万円）を行い、また、当社が保有するTAP-Iの株式について実質価額が著しく下落したため、減損処理により関係会社株式の評価損（個別：1,810百万円）を特別損失に計上することといたしました。

固定資産の減損処理による特別損失

所在地	資産の内容	金額
TAP-I	オートバイ部品加工設備	653 百万円
田中精密工業株式会社	4輪エンジン部品加工設備	1,347 百万円
合 計		2,000 百万円

関係会社株式評価損の計上（TAP-I）

	連結	個別
平成 27 年 3 月 期末の関係会社株式評価損の総額	—	1,810 百万円

2. 繰延税金資産の一部取崩しについて

当社は、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、繰延税金資産の一部を取崩すことといたしました。これに伴い、平成 27 年 3 月期の連結決算において、987 百万円を法人税等調整額に計上いたします。

3. 業績予想の修正

平成 27 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	45,200	1,260	1,140	△250	△25.61
今回発表予想 (B)	48,010	1,040	840	△3,520	△360.62
増減額 (B - A)	2,810	△220	△300	△3,270	
増減率 (%)	6.2	△17.5	△26.3	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	51,648	1,732	1,549	212	21.75

平成 27 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	15,860	200	880	530	54.29
今回発表予想 (B)	15,420	△200	470	△3,740	△383.16
増減額 (B - A)	△440	△400	△410	△4,270	
増減率 (%)	△2.8	—	△46.6	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	17,598	△518	576	435	44.65

修正の理由

① 連結

売上高につきましては、当社製品搭載車の販売が前回想定に対し落ち込んだことによりロッカーアーム等の販売が日本等で落ち込みましたものの、期末為替レート（1ドル：120.17円、1パーツ：3.67円）が想定（1ドル：105.00円、1パーツ：3.20円）よりも円安となったことによる為替換算影響により増収が見込まれます。

損益面につきましては、経費圧縮に努めましたものの国内減収影響等により、営業利益 1,040 百万円（前回予想比 17.5% 減）、経常利益 840 百万円（前回予想比 26.3% 減）と前回予想値を下回る見込みとなりました。また、当期純損益につきましては、固定資産の減損損失計上（連結：2,000 百万円）及び、繰延税金資産の一部取崩し（987 百万円）により、3,520 百万円の当期純損失（前回予想は 250 百万円の当期純損失）となる見込みであります。

② 個別

売上高につきましては、当社製品搭載車の販売が前回想定に対し落ち込んだことによりロッカーアーム等の販売が落ち込み、前回想定を下回る見込みとなりました。

損益面につきましては、諸費用の削減に取り組みしましたが、上記減収影響により、営業損失 200 百万円（前回予想は 200 百万円の営業利益）、経常利益 470 百万円（前回予想比 46.6% 減）、当期純損益につきましては、固定資産の減損損失計上（1,347 百万円）、関係会社株式評価損の計上（1,810 百万円）及び、繰延税金資産の一部取崩し（987 百万円）により、3,740 百万円（前回予想は 530 百万円の当期純利益）の純損失となる見込みであります。

4. 配当予想の修正

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	年 間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成26年4月24日)	—	—	—	8.00	16.00
今回修正予想	—	—	—	4.00	12.00
当期実績	—	8.00	—		
前期実績 (平成26年3月期)	—	8.00	—	8.00	16.00

修正の理由

当社利益配分に関する基本方針は、企業の体質強化と将来の事業展開に備えるため内部留保を図るとともに、株主の皆様に対し、業績を勘案し適正かつ安定的な利益還元を行うこととしております。

しかしながら、平成27年3月期業績予想において大幅な純損失の計上が見込まれることから、誠に遺憾ながら平成27年3月期の期末予想配当金を1株あたり4円とし、年間12円に修正いたしました。

以上

※本資料に掲載されている将来に関する記述の部分は、資料作成時において当社が各種情報により判断した将来情報であります。その内容を当社として保証するものではありません。予想数値等は、今後の経済情勢、市場動向等の変化による不確実性を含有しております。